不織布マスクを作りました

コロナ禍で、広報活動が制限される中、何かお役に立てて且つ 広報効果のあるものを、とマスクを製作しました。隅っこに小さく あいポートのマスコットキャラクターのゾウさんが入っています。 「命の大切さを学ぶ教室」を開催した学校等にお配りし、好評を いただいています。



編集後記

愛知県豊川市内を流れる佐奈川河川敷。両岸には約4kmに わたって790本ほどの桜並木があります。河川敷には菜の花も 咲いています。そんな中、寄り添う二人の姿もありました。ある 臨床心理士の講話の中で「被害者に寄り添うとは、同行二人 (どうぎょうににん)、常に自分にはついていてくれる人がいる、 共にいてくれる人がいると感じていただけるようになりましょう」 とのこと。ある被害者家族は言います。「犯罪被害者等が再び 平穏な生活を営むことができるよう支援すると、法律にあります が、平穏な気持ちになることはないでしょう」と。「どんなに時間が 経とうとも、受けた心の傷は癒えないかもしれない。それでも、 わたしたちは力になりたい。声を聞かせてください」(あいポート のポスターから引用)

同行二人、そんな気持ちで電話をお待ちしています。

事務局長 白柳大仁

表紙を飾る写真など、提供していただける方は、 事務局☎052-232-7834までご連絡ください。

電話相談



月曜日~金曜日/10:00~16:00 祝日、年末年始(12/29~1/3)を除く

時間外はこちら:全国共通ナビダイヤル

© 0570-783-554

7:30~22:00 年末年始(12/29~1/3)を除く ※被害者支援センターの開設時間内はお住いの エリアの被害者支援センターにつながります。

Facebook

Facebook (フェイスブック) では、あいポートの活動や お知らせを随時更新しています。あいポートのFacebook ページをご覧いただき、ぜひ[いいね!]をお願いします。





Twitter

Twitter @aiport7830

Twitter(ツイッター)では、主にあいポートの活動に賛同し、 支援をしてくださる方々をご紹介します。





替助会員随時募集中!

あいポート賛助会員ご入会

- ●個人(一口)10,000円/年
- ●法人(一口)50,000円/年

寄付はいくらからでも

事務局(052-232-7834)もしくは 下記ホームページでお申し出ください。

クレジットカード決済による ご寄付・会費は



CANPAN決済サービス ※CANPAN利用者登録が必要です(登録無料) https://kessai.canpan.info/org/aichi7830/



「あいポートNews」発行所 公益社団法人 被害者サポートセンターあいち 〒460-0002 名古屋市中区丸の内二丁目14番21号 TEL: 052-232-7834 FAX: 052-232-7835 https://www.higai7830.or.jp/

50111-News

No.35 令和4年3月発行

愛知県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体 公益社団法人 被害者サポートセンターあいち



タイトル「寄り添う」 写真提供: 白柳大仁

ごあいさつ



住民サービス課長 藤村 洋一 氏

昨年11月に、愛知県警察本部住民サービス課長に 高い意識を持ち、被害者サポートセンターあいちの 着任いたしました藤村でございます。よろしくお願い そして会員の皆様におかれましては、日頃から犯罪 深く感謝申し上げます。中長期にわたり、被害者等の センターあいち、そして犯罪被害者等支援についてお願い申し上げます。

活動を支える会員の皆様が本県にいらっしゃることは、 いたします。被害者サポートセンターあいちの皆様、 犯罪被害者等にとって大きな「支え」になっており、 大変心強く、頼もしく感じられていることと思います。 被害者等への支援のみならず、警察業務全般にわたり 犯罪被害者等が平穏な生活を一日でも早く取り戻す 深い御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。 には、社会全体が犯罪被害者等支援の必要性に また、県警が運営する性犯罪被害の相談・支援窓口 ついて理解を深め、社会から孤立することなく、途切れ 「ハートフルステーション・あいち」につきましては、 のない支援を公正かつ迅速に受けられるよう講じる 平成22年の設立から継続して被害者サポート ことが重要です。県警としましては、引き続き、被害者 センターあいちの支援員の皆様に御尽力いただき、サポートセンターあいちをはじめ、関係機関・団体との 連携を密にし、犯罪被害者等に寄り添った支援活動 ニーズに応じた多様な支援活動を行う被害者サポート に取り組んで参りますので、皆様の御協力をよろしく

電話相談へのきっかけ、あいポートの周知のために

「犯罪被害者週間|毎年11月25日~12月1日にちなんだ重点的な広報



[地下鉄] 栄、金山、今池、丸の内駅の 防護柵の広告

交通機関をご利用されて、見かけた方がいらっ しゃるかもしれません。令和3年11月1日~30日 の間、名鉄電車全線全車両の1か所と、名古屋 市営地下鉄の構内ホーム防護柵に、あいポートの ポスターを掲示しました。この広告がきっかけで、 被害に遭われて苦しんでいる方が、ちょっと相談 してみよう…と思っていただけたら幸いです。

11月29日、MID-FM「魁TOPインタビュー」に 白柳事務局長がゲスト出演して、あいポートの 活動の紹介や、犯罪に遭われた人にまずは相談を と、支援窓口であることのPRをさせていただきのスポット広告も実施しました。



左端:メインパーソナリティ 書道家 一ノ瀬芳翆氏

ました。犯罪被害者週間中、60秒3回、20秒14回

つり革にご注目!?

令和4年1月28日から、名古屋市営地下鉄で、つり革広告が スタートしました。1年間というロングスパンの掲示です。 地下鉄東山線、名城線をご利用の際は、つり革に目を向けて みてくださいね。



お一人でも多くの方に思いがとどきますように…

自助グループ「絆」手記集第2集が完成しました

メンバーにも変化がありました。そこで、このたび手記集第2集をが必要かなどについて、少しでも御理解を深めていただけることを 発行しました。お一人お一人の思いをかたちにするまで「絆」の願っております。 メンバー、そして支援員らが一緒になって意見を出し合い、表紙から

平成27年の第1集の発行から年月が経過して、「絆」の活動内容や 作り上げた冊子です。この冊子が犯罪被害者の実情や、どんな支援





命の大切さを学ぶ教室

令和3年度 開催結果

「命の大切さを学ぶ教室」とは、犯罪被害者のご遺族等が、将来の社会を 担う中学生、高校生に直接語りかけることで、犯罪等から受けた様々な 痛みや、家族の絆、命の大切さ、被害者も加害者も出さない社会を望む 被害者等の思いへの理解を深めるため、愛知県警からの委託を受け 開催しています。また、警察庁主催で、作文コンクールも実施しており、 応募総数10.343点の中から令和3年度の優秀作品が選ばれました。

〈 令和3年度 開催校 〉

開催日	学 校	講師(敬称略)	聴講者数
5月12日	名古屋市立田光中学校	佐藤 逸代	210名
5月18日	菊武学園菊華高等学校	江崎 恭平	250名
5月21日	県立東海商業高等学校	佐藤 逸代	710名
5月26日	瀬木学園瑞穂高等学校	佐藤 逸代	200名
5月31日	県立春日井高等学校	則竹 崇智	340名
6月9日	瀬木学園瑞穂高等学校	佐藤 逸代	300名
6月21日	滝学園滝高等学校	則竹 崇智	350名
11月15日	県立長久手高等学校	則竹 崇智	930名
11月19日	長久手市立南中学校	佐藤 逸代	750名
11月22日	県立知立東高等学校	磯谷 富美子	1000名
11月25日	県立犬山南高等学校	片山 由美子	450名
12月6日	県立常滑高等学校	天海 とし	450名
12月6日	県立豊明高等学校	磯谷 富美子	800名
12月22日	岡崎市立矢作中学校	則竹 崇智	700名
2月16日	稲沢市立千代田中学校	高田 香	180名
3月11日	椙山女学園中学校	佐藤 逸代	650名





左警察庁長官賞:名古屋市立田光中学校2年 江崎彩乃さん(学年は当時) 右 警視庁犯罪被害者支援室長賞:名古屋市立田光中学校1年 名桐有咲さん(学年は当時



企業等での講演開催

「交通安全や、交通事故について考える研修会を開きたい」 「被害者支援について、何かできることはないか?」

そう考えていらっしゃる企業、

団体での講習会や研修会を開催しています。





愛知県更生保護女性連盟蘇東ブロック10/21 カリツー協力会11/17 講師:自助グループ「絆」岡田彩伽氏



瑞穂区更生保護女性会9/28 講師:あいち交通犯罪死ZEROの会 佐藤逸代氏



株式会社ネイション.12/7 講師: 則竹崇智氏

講師:あいポート支援活動委員長 小島きぬ子氏